

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈外国語活動〉

特別研修員 外国語活動 塚本 牧子 (小学校教諭)

単元名 『What do you want?』 (第4学年) 全5時間計画

単元のねらい

相手に配慮しながら、欲しい物を尋ねたり要求したり、オリジナルピザを紹介したりする。

単元構想の意図

本単元では、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませ、外国語で聞いたり話したりして伝え合うことに自信をもたせられるように、つかむ過程で目的・場面・状況などを想像しやすい単元末の言語活動を示し学習に対する興味・関心を高め、見通しをもたせます。追究する過程では、相手と外国語で何往復かのやり取りを通して自分の考えや気持ちを伝え合うことができるよう、ペアでやり取りと発表を行い、言語材料に慣れ親しませます。まとめる過程では相手に配慮しながら主体的に外国語でやり取りをしたり発表したりする楽しさを実感させ、単元全体を振り返ることで学びが深まるように構成しました。

過程	主な学習活動	児童が興味・関心をもつ言語活動を設定する		
つかむ (1)	<p>1. 単元の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師の演示を見て単元末の言語活動を知り、単元のめあてをつかむ。 ○単元の学習を見通す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 学習すること (何を) ○食材 ○食材を集めるやりとり ○発表のしかた </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 学習のしかた (どのように) ○ピザを作って発表する。 ○ピザを作って紹介する。 ○友達と、相手のよいコミュニケーションをする。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">食材を集めて、最高のピザを作って紹介し合おう。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">＜学習の見通しシート＞</p> </div> <p style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">食材を集めて、最高のピザを作って紹介し合おう。</p>	学習すること (何を) ○食材 ○食材を集めるやりとり ○発表のしかた	学習のしかた (どのように) ○ピザを作って発表する。 ○ピザを作って紹介する。 ○友達と、相手のよいコミュニケーションをする。	<p>目的・場面・状況などが明確な言語活動を設定し、児童に外国語を学習する意欲や目的意識をもたせる。</p> <p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center;">学びの見通しをもたせる</p> <p>単元末で言語活動をするために「何を」「どのように」学ぶのかを児童と一緒に確かめて学習の見通しシートに書き、学習の見通しをもたせる。</p> <p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center;">単元のめあてを児童の言葉で言語化する</p> <p>教師の演示を見た児童のつぶやきを生かして単元のめあてを言葉で示し、児童が主体的に言語活動に取り組めるようにする。</p>
	学習すること (何を) ○食材 ○食材を集めるやりとり ○発表のしかた	学習のしかた (どのように) ○ピザを作って発表する。 ○ピザを作って紹介する。 ○友達と、相手のよいコミュニケーションをする。		
追究する (2)	<p>2. 欲しい物を尋ねたり要求したりする表現や、パフェを紹介し合う表現に慣れ親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアで教師とやり取りをして、パフェの食材絵カードを集め、パフェを作る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : What do you want? S : I want bananas, please.</p> <p>T : How many? S : Two, please.</p> <p>T : Here you are. S : Thank you.</p> <p>T : You're welcome. S : See you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアで、友達と作ったパフェを紹介し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S 1 : This is my pretty Parfait.</p> <p>S 2 : Oh, nice.</p> <p>S 1 : I have one strawberry, two apples and three ice creams.</p> <p>S 2 : Oh, it's a pretty parfait.</p> </div>	<p style="background-color: #d1ecf1; padding: 5px; text-align: center;">言語活動を工夫して言語材料に慣れ親しませる</p> <p>ペアの友達と協力しながら言語活動に取り組ませる。教師が欲しい食材を尋ねたら、児童が欲しい食材を要求するやり取りをさせ、繰り返し英語を発話したり、教師の英語を聞かせたりする。言語材料に十分に慣れ親しませる。</p> <p style="background-color: #d1ecf1; padding: 5px; text-align: center;">中間評価でねらいを再認識させる</p> <p>言語活動の途中でねらいを達成している児童のやり取りや発表を学級全体で確認させる。やり取りや発表を見ていた児童によさを発言させる。活動のねらいを全体で再確認して、後半の活動に生かせるようにする。</p> <p style="background-color: #d1ecf1; padding: 5px; text-align: center;">相手に配慮した言語活動をさせる</p> <p>相手に配慮したやり取りのよさが分かるように、具体的な視点を示す。教師の実演や中間評価などの場面で、実際のコミュニケーションにおけるよさを意識させる。(スマイル/アイコンタクト/反応など)</p>		
	まとめる (3)	<p>3. 慣れ親しんだ表現を用いて食材の絵カードを集めてピザを作って紹介し合い、学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達とやり取りをして食材の絵カードを集めて、最高のピザを作る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S 1 : What do you want? S 2 : I want tomatoes, please.</p> <p>S 1 : How many? S 2 : Two, please.</p> <p>S 1 : Here you are. S 2 : Thank you.</p> <p>S 1 : You're welcome. S 2 : See you.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○最高のピザを紹介し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S 1 : This is my colorful Pizza.</p> <p>S 2 : Oh, nice.</p> <p>S 1 : I have three tomatoes, four mushrooms and five sausages.</p> <p>S 2 : Oh, it's a great pizza.</p> </div> <p style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">いろいろな言葉を学びました。もっといろいろな英語を知って使いたいです。</p>	<p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center;">慣れ親しんだ言語材料で主体的な言語活動にする</p> <p>単元を通して高まった児童の思いや実感を大切に。食材の絵カードを集める活動では児童同士で欲しい物を尋ねたり要求したりするやり取りをさせたり、ピザを発表し合う活動では紹介した後に互いによさをほめ合ったりさせる。</p> <p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center;">中間評価でねらいに迫る</p> <p>言語材料への慣れ親しみや相手に配慮した言語活動になっているかなど、単元のねらいを達成している児童のやり取りや発表を全体で共有する。児童によさを発言させて単元のねらいを再確認し、後半の活動で児童がねらいに迫る言語活動ができるようにする。</p> <p style="background-color: #f8d7da; padding: 5px; text-align: center;">振り返りで単元の学びを自覚させる</p> <p>まとめの発表で友達や自分のできるようになったことやがんばりを学級全体で認め合う活動を設定する。本単元の学習のできるようになったこと、感じたこと、もっと勉強したいことなどを振り返らせ、学びを自覚させる。</p>	

指導例：『What do you want?』（第4学年 第1時）

1 あいさつ、ウォームアップをする。

○歌を歌ったり簡単なやり取りをしたりして、学習する意欲を高める。

2 単元のめあてをつかむ。

教師の
演示から、
単元末の
言語活動を
つかむ

T1: What do you want? T2: I want tomatoes, please.
T1: How many? T2: Two, please.
T1: Here you are. T2: Thank you.
T1: You're welcome. T2: See you.
T1: This is my Balanced Pizza. T2: Oh, nice.
T1: I have three tomatoes, four onions and five sausages. T2: Oh, it's a great pizza.

○教師の演示から類推し、単元のめあてをつかむ。
S: 野菜をもらってピザを作った。 S: ピザを紹介した。
S: 最高のピザを作ろう、だ。

単元のめあて 食材を集めて、最高のピザを作って紹介し合おう。

単元の学習の
見通しをもつ

○「何を」「どのように」学習するかを確かめる。

T1: 「何が」できるようにになればよいですか。
S: 食材の英語。 S: もらい方。

学習すること（何を）

- 食材
- 食材を集めるやりとり
- 発表のしかた

学習のしかた（どのように）

- パフェを作って発表する。
- ピザを作って紹介する。
- 友達と気持ちのよいコミュニケーションをする。

食材を集めて、最高のピザを作って紹介し合おう。

<学習の見通しシート>

3 本時のめあてをつかむ。

本時の学習の
見通しをもつ

S: 今日は、食材の英語が言えるようになればいいと思う。

めあて 食材の英語に慣れ、世界と日本の違いについて考えよう。

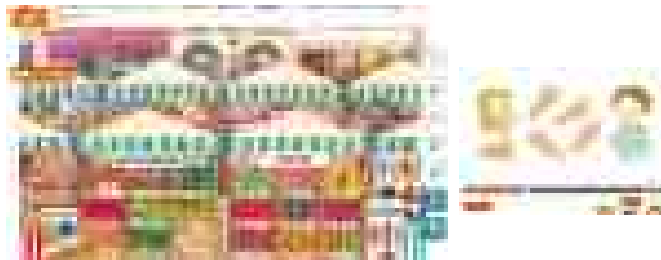
4 本時の活動に取り組む。

音声に慣れ
親しませる
活動

聞く
↓
話す

文化を
体験的に
理解する
活動

○おはじきゲームで食材の言い方に慣れ親しむ。
○欲しい物を尋ねたり要求したりする英語を、リズムに合わせて練習する。



○映像を見て、世界と日本の市場の違いについて考える。

5 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

○本時のめあてを確かめ、振り返りをする。

めあてに
基づいた
振り返り

S: 英語には、日本語と似ている野菜の名前があった。

S: ゲームでたくさん話して楽しく英語を覚えられた。

S: 世界のスーパーは日本とはあまり似ていなかった。

S: ゲームが終わった時、友達が See you. と言ってくれてうれしかった。

指導のポイント

単元末の言語活動の設定

○目的・場面・状況などが明確な言語活動を設定し、児童に外国語を学習する目的意識をもたせる。

学習の見通しをもたせる

○教師の演示では、表情・ジェスチャーや具体物などで工夫し、児童に会話の内容を具体的にイメージさせる。
○児童のつぶやきや気付きを大切に、児童とやり取りをしながら内容を類推させる。
○単元末の言語活動をするために「何を」「どのように」学ぶのかを児童と一緒に確かめて「学習の見通しシート」に書き出し可視化する。

つかむ過程での言語活動の工夫

○聞く活動から話す活動へ、段階的に移行していく。
○活動に変化をもたせ、体験的に繰り返し取り組ませ音声に十分慣れ親しませる。
○ゲームでは繰り返し語句を聞かせたり言わせたりする。徐々に慣れ親しませたい語句や表現に焦点化していく。
○チャンツやリズムに合わせた語句練習で、英語独特のリズムに慣れ親しませる。

振り返りの工夫

○児童の振り返りは友達と伝え合いをさせ、がんばりや気付きを共有させる。
○数名の児童の振り返りを意図的に指名して全体で共有し、本時の学びを自覚させたり次時の学習につなげたりする。

指導例：『What do you want?』（第4学年 第2時）

指導のポイント

1 あいさつ、ウォームアップをする。

○歌を歌ったり簡単なやり取りをしたりして、学習する意欲を高める。

2 本時のめあてをつかむ。

前時までの
学習の想起

○児童の振り返りから単元の学習を想起する。
S：英語には、日本語と似ている名前の野菜がありました。
S：ゲームが終わった時、友達が See you. と言ってくれてうれしかった。

○復習を
する
チャンツ

見通しをもつ

○単元のめあてから、本時の学習を見通す。

教師の演示
を見る

T1: What do you want? T2: I want bananas, please.
T1: How many? T2: Two, please.
T1: Here you are. T2: Thank you.
T1: You're welcome. T2: See you.

めあてを
類推する

○教師の演示を見て、本時のめあてを言語化する。
S：先生は、バナナを二つもらっていたよ。

めあて パフェを作れるよう、食材の絵カードのもらい方を練習しよう。

前時の学習の想起と復習

○前時の児童の振り返りの記述から学習を想起させ、復習につなげる。

児童にめあてをつかませる工夫

○児童が本時の学習内容を類推しやすいように、単元のめあてを意識させて本時の学習の見通しをもたせてから教師の演示をする。
○教師は児童に示すめあてを準備しておくが、演示を見た児童のつぶやきを基にやり取りをし、児童の言葉でめあてを言語化する。

3 本時の活動に取り組む。

語句練習を
する

前半の
言語活動

中間評価

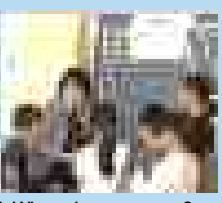
後半の
言語活動

○活動途中にめあてを再認識する。
(中間評価)

T: What do you want? S: Peaches, please.
T: How many? S: Two, please.
T: Here you are. S: Thank you.
T: You're welcome.

S: Please を付けて言っているから、もらう言い方で言っている。
S: 二つ欲しいときに指も2としているから、分かりやすいよ。

T: Peaches, please. が言えるようになってきたら、I want peaches, please. にもチャレンジしよう。



T: What do you want? S: I want bananas, please.
T: How many? S: Two, please.
T: Here you are. S: Thank you.
T: You're welcome. S: See you.

まとめの
発表

○まとめの発表をする。
T: What do you want? S: I want melons, please.
T: How many? S: Three, please.
T: Here you are. S: Thank you.
T: You're welcome.
S: I want ~. と、もらう言い方で言っている。
S: 目を見て話しているから、いいね。

言語材料に慣れ親しませる工夫

○教師同士や教師と児童のやり取りを児童に見せたり、チャンツを役割分担して言わせたりして、十分に語句練習をする。
○追究する過程では、児童は教師を相手に食材の絵カード集めのやり取りをする。繰り返し発話させて慣れ親しませたい言語材料と、繰り返し聞かせて慣れ親しませたい言語材料を分ける。児童の発話量は単元を通じて段階的に増やしていく。
○ペア活動で友達と協力しながら言語活動に取り組ませる。

ねらいを再認識する中間評価

○ねらいを達成している児童のやり取りを学級全体で共有する。
○言語材料への慣れ親しみや相手への配慮の視点でやり取りを見ていた児童によさを発言させる。児童から出ない視点は教師が補い、児童にねらいを再認識させる。

4 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

○本時のめあてを確かめ、振り返りをする。

めあてに
基づいた
振り返り

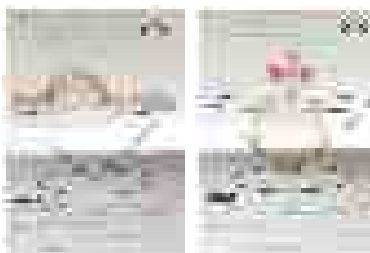
S：〇〇ブリーズは難しかったけど言えた。みんなと英語で楽しく学びたい。

振り返りの
共有

S：もらい方の英語をたくさん言って、覚えられたのでよかった。

学びの自覚

S：目を見て言えたら、もっとよかったと思う。



振り返りの工夫

○児童の振り返りは友達と伝え合いをさせ、がんばりや気づきを共有させる。
○数名の児童の振り返りを意図的に指名して全体で共有し、本時の学びを自覚させる。

指導例：『What do you want?』（第4学年 第4時）

1 あいさつ、ウォームアップをする。

○歌を歌ったり簡単なやり取りをしたりして、学習への意欲を高める。

2 本時のめあてをつかむ。

前時までの
学習の想起

○児童の振り返りから単元の学習を想起する。
S：食材絵カードを集めて、もらい方が分かった。
S：作ったパフェを発表したよ。
S：You're welcome.と言われてうれしい気持ちになったよ。

○復習を
する
チャンツ

見通しをもつ

○単元のめあてから、本時の学習を見通す。

教師の演
示
を見る

T1: What do you want? T2: I want tomatoes, please.
T1: How many? T2: Three, please.
T1: Here you are. T2: Thank you.
T1: You're welcome. T2: See you.

めあてを
類推する

○教師の演示を見て、本時のめあてを言語化する。
S：笑顔でうれしいやり取りをしたい。

めあて うれしいやり取りで食材の絵カードを集めて、最高のピザを作ろう。

3 本時の活動に取り組む。


前半の
言語活動

中間評価

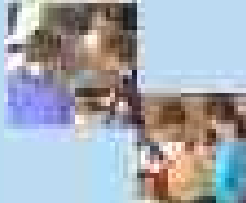
役割の
入れ替え

後半の
言語活動

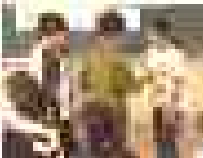
まとめの
発表



○活動途中にめあてを再認識する。(中間評価)
S：1, 2, 3と教えているのが、分かりやすい。
S：相手の目を見ているところがいいと思う。
S：Thank you. や You're welcome. と言っていたからうれしいやり取りだった。



(A) What do you want?
I want tomatoes, please.
How many?
Three, please.
Here you are. Thank you.
You're welcome. See you.



○まとめの発表をする。
S：はきはきと話しているから、聞きやすいね。
S：笑顔で楽しそうに話していたね。
S：ジェスチャーも付けていて、分かりやすかった。

4 本時の学習のまとめをし、学習を振り返る。

○本時のめあてを確認、振り返りをする。

名前

ゴージャスもりもりキングピザ

めあてに
基づいた
振り返り

S：AさんとBさんが一番よかった。
You're Welcome. まで言ってくれて、一番うれしいやり取りだった。

振り返りの
共有
学びの自覚



S：AさんとBさんと話したとき、私もうれしいやり取りだと感じた！

理由

やり取りをたくさんして、たくさん食材を集めたから。
作った人の名前
ピザ作りの達人 ○○○○

指導のポイント

単元を通した学習の想起

○前時までの児童の振り返りの中から、児童の言葉で単元を通した学習を想起させる。

相手に配慮したやり取りの工夫

○前時までの学習の想起の中で相手に配慮したやり取りのよさにも触れ、意識付ける。
○めあてを類推する場面で、相手に配慮したやり取りのよさに触れ、児童に意識付けしてからめあてをつかませる。
○相手に配慮したやり取りの例。(笑顔・目を合わせる・反応する等)

ねらいに迫る中間評価

○途中で活動を止め、ねらいを達成している児童のやり取りを全体で共有する。
○言語材料への慣れ親しみや相手に配慮したやり取りを意識しているかの視点で児童によさを発言させて本時のねらいを再確認する。
○再確認したねらいを基に児童に前半の言語活動を見直させ、後半ではさらにねらいを意識させる。

見取り・称賛

○活動終了後、代表児童によるまとめの発表を見てよさを共有する。
○友達や自分のできるようになったことやがんばりを自覚させる。

単元末の振り返り

○単元を通して感じたり考えたりしたことを振り返らせ、友達と共有させる。
○児童の前向きな姿や意欲を振り返りの言葉を生かして具体的に称賛し、児童の学びの自覚を強める。

外国語活動学習指導案

平成30年10月 第4学年 指導者 塚本 牧子

I 単元名 「What do you want?」

II 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語活動の目標及び内容

第2節 英語

1 目標

(2) 話すこと [やり取り]

イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。

(3) 話すこと [発表]

イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

2 内容

(1) 英語の特質に関する事項

イ 日本と外国の言語や文化について理解すること。

(イ) 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

イ 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり質問に答えたりすること。

III 目標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア 世界の食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。

(知識及び技能)

イ 欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 相手に配慮しながら、欲しい物を尋ねたり要求したりし、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／5）

1 ねらい おはじきゲームやチャンツを通して、本単元で学習する語句の言い方に慣れ親しむようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・ウォームアップをする。（3分）</p> <p>○既習の歌を歌ったり天気や気分を伝え合ったりして、楽しく学習する雰囲気づくりをする。</p>			
<p>2 単元のめあてをつかむ。（12分）</p> <p>○好きな食材を集めてピザを作って紹介する教師の実演を見せることで単元末の言語活動までの見通しをもたせ、単元のめあてをつかませる。</p> <p>○この単元で学習する内容や語句・表現等を確認し、単元全体の学習の見通しをもたせる。</p>			
<p>単元のめあて オリジナルピザを作って、紹介し合おう。</p>			
<p>3 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>○教科書の[Let's Watch and Think](P. 27)を見て世界の市場にある多くの食材に関心をもたせ、本時のめあてをつかませる。</p>			
<p>めあて 食材の英語の言い方を知り、聞いたり言ったりしよう。</p>			
<p>4 本時の活動に取り組む。（17分）</p> <p>(1) おはじきゲームで食材の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○リズムに合わせた語句練習で、日本語とは違う英語の発音やイントネーションの面白さを感じさせる。</p> <p>○ゲームを繰り返し行い、食材の言い方に慣れ親しませる。</p> <p>(2) チャンツで欲しい物を尋ねたり要求したりする英語をリズムに合わせて練習する。</p> <p>○チャンツを聞かせ、児童にどんなやり取りをしているかを確認させる。</p> <p>(3) 映像を見て世界と日本の市場の違いについて考える。</p>			
<p>世界の食材の言い方を知り、日本語との違いを感じながら聞いたり言ったりしている。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察・振り返りカード(3)></p>			
<p>5 めあてに沿って本時の振り返りをする。（8分）</p> <p>○世界の食材の言い方を知り、日本語との違いを感じながら聞いたり言ったりしていたか、これからの学習でどんなことをやりたいかを振り返らせる。</p> <p>☆食材の英語の言い方には難しいものもあったけど、言えるようになったものもあった。</p> <p>☆どんなオリジナルピザを作ろうか、楽しみだ。</p>			

V 本時の展開（2／5）

1 ねらい フルーツパフェを作るための食材を集める活動を通して、欲しい食材を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・ウォームアップをする。（3分）	○既習の歌を歌ったり天気や気分を伝え合ったりして、楽しく学習する雰囲気づくりをする。		
2 本時のめあてをつかむ。（7分）	○児童の振り返りから前時の学習を想起させる。 ○フルーツパフェを作るための食材集めをする教師の実演を見せ、場面・内容・状況などを児童に類推させ、児童の言葉で本時のめあてを言語化し、児童にめあてをつかませる。		
めあて 食材集めのやり取りを聞いたり話したりして、フルーツパフェの材料を集めよう。			
3 本時の活動に取り組む。（27分）	(1) どんなパフェを作るか考える。 (2) フルーツパフェを作るために欲しい物を尋ねたり要求したりして、食材を集める。 ○チャンツに合わせた語句練習で、食材や欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しませる。 ○教師と児童や児童同士でのやり取りを繰り返し行って食材の語句や欲しい物を尋ねたり要求したりする表現を十分に確かめさせる。 ○活動の途中で中間評価を行い、欲しい物を尋ねたり要求したりする英語を確認して児童に言語材料に慣れ親しませ、笑顔やアイコンタクトをして気持ちのよいやり取りができるよう意識させる。		
欲しい食材を尋ねたり要求したりする英語の表現に慣れ親しんでいる。			
<行動観察・振り返りカード（2）>			
4 本時のまとめ・振り返りをする。（8分）	○フルーツパフェを作るための食材集めをして、どんなことができるようになったかを振り返らせる。 ☆食材集めのやり取りは、少し言えるようになったな。 ☆フルーツパフェの材料を集められた。		

V 本時の展開（4／5）

1 ねらい 自分のピザを作る活動を通して、慣れ親しんだ表現を用いて欲しい食材を尋ねたり要求したりして伝え合うようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<p>1 あいさつ・ウォームアップをする。（3分）</p> <p>○既習の歌を歌ったり天気や気分を伝え合ったりして、楽しく学習する雰囲気づくりをする。</p>			
<p>2 本時のめあてをつかむ。（7分）</p> <p>○児童の振り返りから前時までの学習を想起させる。</p> <p>○ピザを作るための食材集めをする教師の実演を見せて場面・内容・状況などを児童に類推させ、児童の言葉で本時のめあてを言語化し、児童にめあてをつかませる。</p> <p>○笑顔やアイコンタクトをしたやり取りを示して、相手に配慮すると気持ちよくやり取りができることを児童に意識させる。</p>			
<p style="text-align: center;">めあて 相手と気持ちのよいやり取りをして欲しい食材を尋ねたり要求したりして、自分のオリジナルピザを作ろう。</p>			
<p>3 本時の活動に取り組む。（30分）</p> <p>（1）どんなピザを作るか考える。</p> <p>（2）オリジナルピザを作るために欲しい物を尋ねたり要求したりして、食材を集める。</p> <p>○気持ちのよいやり取りをしてピザの食材を集めるために大切なことは何かを児童に問いかけ、語句や表現、笑顔やアイコンタクトなど気持ちのよいやり取りをする上で大切なことを想起させる。</p> <p>○活動の途中で中間評価を行い、語句や表現、笑顔やアイコンタクト等を意識してねらいに沿った活動になっているかを確認するよう促す。</p> <p>○活動の最後に代表児童数名の発表を見せて、児童が語句や表現、笑顔やアイコンタクトを意識してやり取りをしていたことを学級全体で共有し、称賛する。</p> <p>（3）集めた食材を用いて、自分のピザを作る。</p> <p>○自分のピザに名前を付けたり、自分のピザの工夫点を考えたりするよう助言する。</p>			
<p style="text-align: center;">慣れ親しんだ表現を用いて相手に配慮しながら食材探しのやり取りをして、自分のピザ作りに必要な食材を集めている。 <行動観察・振り返りカード（2）></p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）</p> <p>○欲しい物を尋ねたり要求したりして食材を集めピザを作った学習を通して、気付いたことやもっと学びたいことなどを振り返らせる。</p> <p>☆プリーズのやり取りで、いろいろなお店屋さんができそうだから、やってみたい。</p> <p>☆I want a tomato, please. は、トマトプリーズでも分かると思う。</p> <p>☆目を見たり、はっきりと話したりして気持ちのよいやり取りができたと思う。</p> <p>☆自分のピザでピザ屋さんをやってみたいな。</p>			

指導計画 外国語活動 第4学年 単元名「What do you want?」(全5時間計画)

目標	<p>以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。</p> <p>ア 世界の食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 (知識及び技能)</p> <p>イ 欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 相手に配慮しながら、欲しい物を尋ねたり要求したりし、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介し合おうとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>(2) 食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現、考えたメニューを紹介し合う表現に慣れ親しんでいる。 (外国語への慣れ親しみ)</p> <p>(3) 日本と世界では食材の言い方が違ったり、世界には様々な食材があつたりすることに気付いている。 (言語や文化に関する気付き)</p>		
過程	時間 ○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 〈方法 (観点)〉
つかむ	<p>1</p> <p>《単元のめあて》 ◎オリジナルピザを作って、紹介し合おう。 ○おはじきゲームやチャンツを通して、本単元で学習する語句の言い方に慣れ親しむようにする。 食材の英語の言い方を知り、聞いたり言ったりしよう。</p>	<p>☆食材の英語の言い方には難しいのもあったけど、言えるようになったものもあった。 ☆どんなオリジナルピザを作ろうか、楽しみだ。</p>	<p>◇世界の食材の言い方を知り、日本語との違いを感じながら聞いたり言ったりしている。 〈行動観察・振り返りカード (3)〉</p>
追究する	<p>2</p> <p>○フルーツパフェを作るための食材を集める活動を通して、欲しい食材を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむようにする。 食材集めのやり取りを聞いたり話したりして、フルーツパフェの材料を集めよう。</p> <p>3</p> <p>○作ったフルーツパフェを紹介する活動を通して、基本的な表現を用いてイラストを見せながら紹介することに慣れ親しむようにする。 フルーツパフェを紹介しよう。</p>	<p>☆食材集めのやり取りは、少し言えるようになったな。 ☆フルーツパフェの材料を集められた。</p> <p>☆友達フルーツパフェは、いろいろな食材がトッピングしてあった。 ☆パフェの名前が工夫されていてよかった。</p>	<p>◇欲しい食材を尋ねたり要求したりする英語の表現に慣れ親しんでいる。 〈行動観察・振り返りカード (2)〉</p> <p>◇基本的な表現を用いてフルーツパフェを紹介することに慣れ親しんでいる。 〈行動観察・振り返りカード (2)〉</p>
まとめる	<p>4</p> <p>○自分のピザを作る活動を通して、慣れ親しんだ表現を用いて欲しい食材を尋ねたり要求したりして伝え合うようにする。 相手と気持ちのよいやり取りをして欲しい食材を尋ねたり要求したりして、自分のオリジナルピザを作ろう。</p>	<p>☆プリーズのやり取りでいろいろなお店屋さんができそうだから、やってみよう。 ☆ I want a tomato, please. は、トマトプリーズでも分かると思う。 ☆目を見たり、はっきりと話したりして気持ちのよいやり取りができたと思う。 ☆自分のピザでピザ屋さんをやってみよう。</p>	<p>◇慣れ親しんだ表現を用いて相手に配慮しながら食材探しのやり取りをして、自分のピザ作りに必要な食材を集めている。 〈行動観察・振り返りカード (2)〉</p>
	<p>5</p> <p>○自分のピザを紹介して名前を付けてもらったり自分で付けた名前を伝えたりする活動を通して、相手に配慮しながらオリジナルピザを紹介し合うようにする。 自分のピザを紹介し合おう。</p>	<p>☆私は食材をバランスよくトッピングしたけど、○さんは一番好きな食材を多くトッピングしていた。そんなピザもいいなと思った。 ☆自分はトマトとサラミとにんじんをトッピングして「レッドピザ」と名前を付けたけど、友達は「バランスピザ」と名付けてくれた。栄養バランスがいいことが分かって、いいと思う。 ☆みんながピザにどんな名前を付けたのか知りたいし、自分のピザにどんな名前を付けてくれるか知りたい。自分のピザについてもみんなに伝えたい。</p>	<p>◇相手に配慮しながら、基本的な表現を用いて、オリジナルピザを紹介している。 〈行動観察・振り返りカード (1)〉</p>